

「信州で活躍する 終活カウンセラー」



神津 美保 profile

株式会社 神津石材店
佐久市安原758
0267-68-3996
<http://www.ishi-kouzu.com>
終活カウンセラー上級インストラクター
琴伝流大正琴上級師範

終活は難しいものでなく
思い立った時から始められる

神津 美保さん

家業である石材店のお客さ
んとの日常会話の中で、次第に
「終活」の必要性を感じ、地域に
貢献したいという思いで終活カ
ウンセラー資格を取得。自社で
の終活セミナー開催のほか、婦
人会や地区会、社会福祉協議会
などからの講演依頼も多い。ま
た手作りで新聞を発行し、常に
最新の終活情報発信に力を注い
でいる。

終活はより良く生きるために
の活動であり、老若男女を問わ
ず、誰にとっても必要だと考え
ている。

私のミニエンディングノート

- *人生最後に食べたいもの(最後の晚餐)
美味しいコーヒー
- *人生最後に行きたいところ
Los Angeles
- *天国に持っていくたいもの
思い出
- *天国で会いたい人
選びません
- *生まれ変わったらなりたい職業
音楽の先生

る神津さん。「終活はむずかし
いことではありません。始めよ
うと思ったその時からすぐにで
きます」

石材店とし
てお墓づくり
を基本に地域
を支えてき
た神津さん
は「明るく樂
しく役に立つ
終活」をモッ
トに多くの
方々が気軽に

相続や保険、葬儀や供養、生死観など、終活で扱う分野は多岐にわたります。
そこで、一般社団法人終活カウンセラー協会の認定する
「終活カウンセラー」たちがサポートします。
どんな専門家がどんな活動をしているのでしょうか。
長野県内在住するカウンセラーの横顔を御紹介します。



一般社団法人 終活カウンセラー協会

終活を普及させる目的で設立。「終活カウンセラー」資格を認定し、その育成に尽力している。エンディングノートが書けるような基礎知識を得られる初級資格に始まり、他の人にアドバイスができる上級資格、さらには「終活カウンセラー」を養成できるインストラクター資格へとステップアップが可能(写真は初級検定の様子)。

【長野県にて終活カウンセラー初級検定初開催決定】
第七十五回終活カウンセラー初級検定(長野開催)
日 時：2015年5月23日(土)
10:00～16:45(受付 9:30～)
会 場：長野県佐久労働者福祉センター 第五会議室
受講料：9,070円
定 員：100名

東京都品川区旗の台4-2-5 ホープイン旗の台2B
03-6426-8019 <http://shukatsu-csl.jp>

悔いなく終わること^が
新たな始まりを生む

井出 雄太さん



井出 雄太 profile

火葬場勤務
岡小諸市
上級終活カウンセラー

葬儀事前相談から終活まで
地域に安心とやすらぎを

伊藤 佳代子さん



伊藤 佳代子 profile

株式会社 セレモニーホール飯田
国 飯田市松尾明4975-5
0265-24-0365
<http://ceremo-iida.jp>

復元納棺師 全葬連葬儀事前相談員

飯田市で87年続く葬儀社、セレモニーホール飯田・専務取締役の伊藤さん。地域に根づいた葬儀社として、普段から地域の人々とのコミュニケーションを大切にし、専用の事前相談室を設けて対応している。特に伊藤さんは、女性としての話しやすさや消費者目線をいかして、気になる葬儀費用のことや最近耳にすることが多くなってきた家族葬について、そのメリット、デメリットをしっかりと伝えて

いる。また、復元納棺師として対応する立場

の技術も持ち、故人の顔や身体をやさしい表情へとつくり出し、寄り添う家族の悲しみを和らげる。さら

に終活カウンセラーの資格を取得し、葬儀だけでなく、後継者が家を離れてしまった方など、さまざま

私のミニエンディングノート

- *人生最後に食べたいもの（最後の晩餐）
4才になる息子と、息子の大好きなカレーと一緒に食べたい
- *人生最後に行きたいところ
特になし
- *天国に持っていきたいもの
息子の写真
- *天国で会いたい人
父、父の代わりをしてくれた父の親友
- *生まれ変わったらなりたい職業
この仕事が好きなので葬祭に関する仕事

り状態で、誰に相談したらいいのかもわからず、母親を亡くした悲しみと後悔の思いだけが残った。そんな経験から、仕事を通じて終活に興味をもたれた方や母親がお世話になつた病院を通じて、がん患者とその家族に終活の重要性を伝えていく。

終活とは、人生の終焉を見つめて、今的人生をよりよく生き

けている井出さん。母親をがんで亡くし、その後の葬儀やお墓のことに至るまですべてが手探りの状態で、誰に相談したらいいのかもわからず、母親を亡くした悲しみと後悔の思いだけが残った。そんな経験から、仕事を通じて終活に興味をもたれた方や母親がお世話になつた病院を通じて、がん患者とその家族に終活の重要性を伝えていく。

終活とは、人生の終焉を見つめて、今的人生をよりよく生きるために、すべきことを整理し、道筋を描くこと。それはその人にしかできないことだと井出さん。「終

私のミニエンディングノート

- *人生最後に食べたいもの（最後の晩餐）
お弁当（母親が作ってくれた、たこさんワインナー、卵焼き、ふきみそなど）
- *人生最後に行きたいところ
ヨーロッパ
- *天国に持っていきたいもの
本一冊
- *天国で会いたい人
母親、いとこ
- *生まれ変わったらなりたい職業
この職業が性に合っていると思います

場の炉は「使命を使い切った人」が入るところだから精一杯生きてほしい」